

第54期 第2四半期 報告書

平成26年3月1日 ▶ 平成26年8月31日



このたびの広島土砂災害で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の日も早い復旧をお祈り申し上げます。

株主の皆様へ



代表取締役社長
山西 泰明

営業収益は2834億円と、前年同期の4%増加。
これからもお客様満足をさらに追求してまいります。

youme

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期における小売業を取り巻く経済環境は、輸出企業を中心に景気は緩やかな回復基調となるものの、個人消費は消費税引き上げに伴う駆け込み消費及びその反動から弱含んで推移しました。

当社グループでは、前年度の最高益更新に続き、さらなる成長を遂げるため“お客様のために尽くす”という実行方針のもとに、お客様満足を追求し競争力のある品揃えの拡充とともに、売場への付加価値を高める取り組みを推進しました。

店舗面では、旗艦店である「ゆめタウン広島」で最大規模のリニューアルを行うなど、既存店の活性化を積極的に実施するとともに、「ゆめマート松橋」「ゆめタウン大江」「ゆめモール柳川」の3店舗を新設し、出店エリアのドミナント化を一段と進展させました。

また、株式会社スーパー大栄との資本業務提携と株式会社広栄の完全子会社化により、各社における品揃えのノウハウ共有を進めるとともに、スケールメリットを生かした業務効率の改善に取り組みました。

これらの結果、当中間期の営業収益は2834億円となり、前年同期の4%増加となりました。

セグメント別業績では、当社グループのコア事業である小売事業は、高品質・高付加価値の商品をより値頃な価格で提供することで、二極化した消費行動に対応する“いいものを安く“にさらに磨きをかけてきました。また市場特性に応じて投入商品や価格設定を見直すとともに、PB商品など競争力のある品揃えを拡充し、週単位での重点販売商品の投入強化や鮮度重視の売場演出などにより、集客力を高め販売増加に繋げました。

小売周辺事業では、引き続きショッピング時のクレジット利用推進や、地域限定「ゆめか」を投入するなど電子マネー「ゆめか」の利用拡大をさらに推し進めました。これらによりキャッシュレス決済を推進することで、お客様の利便性の向上やレジ業務の生産性改善、外部加盟店からの手数料収入の増加に加え、小売事業への集客力向上などの成果を上げました。

株主の皆様におかれましては引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

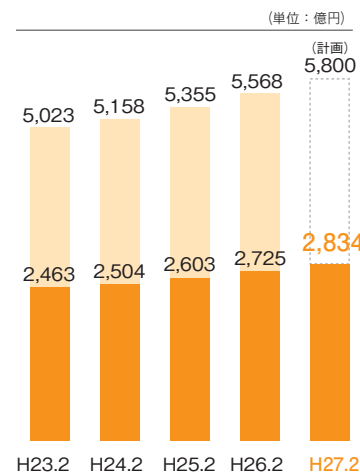
進化し、深化する「youme」を。
地域になくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



連結財務ハイライト

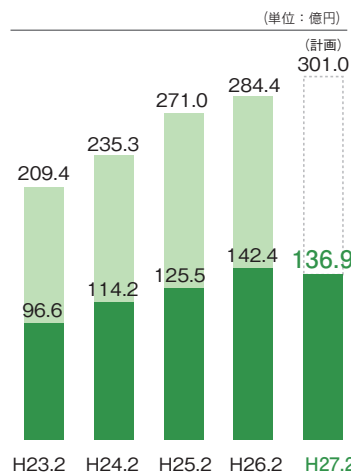
営業収益

	前年同期比
2,834 億円	▲104.0 %



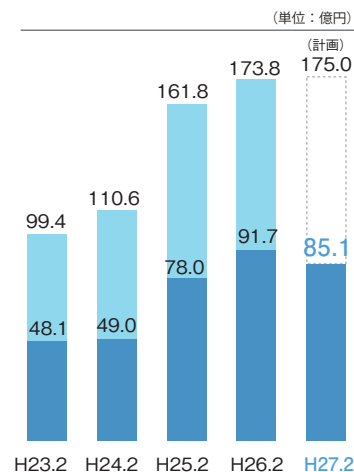
経常利益

	前年同期比
136.9 億円	▲3.9 %

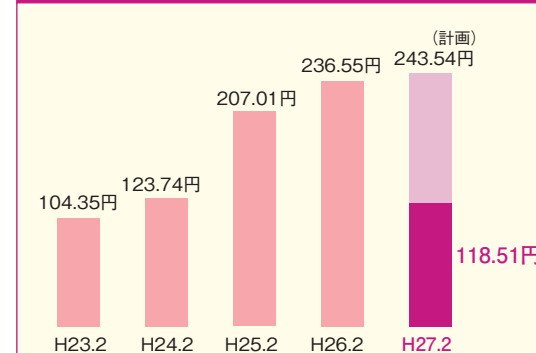


四半期純利益

	前年同期比
85.1 億円	▲7.2 %



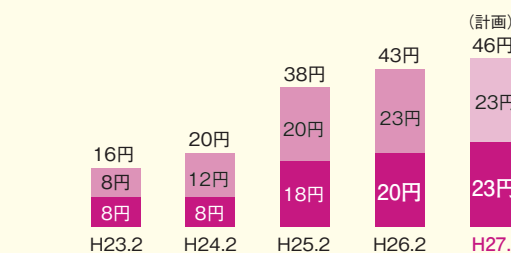
1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり配当金

1株当たり配当金を以下のとおりとさせていただきます。

■ 期末配当 ■ 中間配当



「ゆめタウン」「ゆめモール」「ゆめマート」…… 3つの店舗業態で地域の夢を応援しています。

イズミは、複合型大規模商業施設としての「ゆめタウン」をはじめ、
近隣型複合商業施設「ゆめモール」、小商圏向け小型SC「ゆめマート」という、
3業態の店舗フォーマットを用意し、地域特性にあわせた店舗展開を進めています。
地域とともに「ゆめ」を進化し、深化させるイズミの未来にご期待ください。



平成27年春
OPEN予定!

ゆめタウン廿日市

行政連携による中四国最大級の新店舗

広島県廿日市市の行政と文化の中心となるエリアの

中心的施設として誕生する「ゆめタウン廿日市」。

グランドオープンまで、いよいよあと半年と迫ってきました。

廿日市市の街づくり構想と連携しながら、新しいにぎわいや文化を創造する拠点として、
地域の人々からも大きな期待が寄せられています。

その一番の魅力は、花と緑あふれる庭園環境と一体となった環境デザインにあります。

さわやかな自然環境にかこまれた「ゆめタウン廿日市」は、

散歩やランニングなどで毎日でも訪れたいくなるほどの心地よさ。

お買い物やお食事だけでなく、カルチャーや健康面でも、新たな暮らしの楽しみを数多くご提案して行く予定です。



店舗概要 ・敷地面積／約61,000㎡ ・延床面積／約182,800㎡ ・店舗面積／約50,000㎡ ・駐車台数／約4,000台

ゆめタウン大江

平成26年6月26日
OPEN!

店舗概要 ・敷地面積／約19,000㎡ ・延床面積／約8,700㎡ ・店舗面積／約7,100㎡ ・駐車台数／445台

学校・公共施設・大型商業施設が集積する有望エリア

「ゆめタウン大江」は、大学や図書館、劇場、銀行、
大型量販店などが建ち並ぶ熊本県内随一の文教
エリア大江地区の、日本たばこ産業の旧熊本工場
跡地に開業しました。

今後も周辺に大型医療施設や大規模分譲マン
ションなどが次々に建設されることから、学生や
高齢者も気軽に立ち寄れる食品スーパーを中心
に、カフェやスイーツなどの飲食機能やファッショ
ン・雑貨機能などを、コンパクトに集約した店舗と
しました。



ゆめモール柳川

平成26年7月15日
OPEN!

店舗概要 ・敷地面積／約48,400㎡ ・延床面積／約15,700㎡ ・店舗面積／約12,000㎡ ・駐車台数／約800台

近隣型SC「ゆめモール」として九州地区初出店！

「ゆめモール柳川」は、現在再開発が進む西鉄柳川
駅の東側で、有明海沿岸道路にも面する「交通の結
節点」にオープンしました。

敷地内には直営の食品SC「ゆめマート」をはじめ、
家電の「ケーズデンキ」、カジュアル衣料「ユニク
ロ」、シューズ「ABCマート」、紳士服「AOKI」、喫茶
「コメダ珈琲店」といった集客力の強い専門店群が
集結し、地域の新しい活力を創出しています。



ゆめタウン広島

平成26年4月24日 リニューアルOPEN!

》ゆめタウン史上最大のリニューアルを実施!

「ゆめタウン広島」は、開業6年目を迎え、競争力と魅力をさらに高めて行けるよう、182の専門店のうち101店舗の大規模リニューアルを行いました。

リニューアルの目玉は、フードコートのスケールアップやキッズエリアの拡充とともに、全国初のカフェ併設による「studio CLIP」などの新鮮な魅力あふれる店舗が28店もオープン! 3世代が揃って楽しめるわくわくと感動が、さらにパワーアップしました。



column

イズミ広島物流センター(仮称) 一兆円企業の実現をめざして物流体制を拡充

イズミは今「1兆円企業」をめざしており、それには重点エリアである広島県西部から、島根県、山口県でのドミナント戦略の深化と物流体制の拡充が不可欠です。そこで広島市の商工センターに、これまで分散していたドライ・チルド機能を集約した大型の物流センターを建築することとし、このたび起工しました。

物流センターは、地上2階建て延床面積8千坪を超え、年間予定通過金額600億円というパワースケールです。完成すれば輸送効率アップだけでなく、鮮度等の品質向上や輸送環境面でも向上が期待されています。



施設概要 ・敷地面積／約28,600㎡ ・建築面積／約19,200㎡ ・延床面積／約26,800㎡

イズミグループCSR 地域社会とのコミュニケーション

you me



▶輝く女性の能力を、もっとビジネスパワーに活用したい。 2020年までに女性管理職を20%以上に!

イズミのお客さまのほとんどは女性であり、イズミで働く人の多くも、女性です。女性の視点を生かして、女性が気持ちよく働ける環境を増やせば、会社を活気づけ、お客さまからの支持をさらに得ることができるのでは。そうした発想から、イズミでは女性の能力を最大限引き出し「2020年までに女性管理職を20%以上にする」ためのプロジェクトを立ち上げました。その第一弾として、5月16日、女性リーダー研修を開催。そこでは活発な議論が交わされ、新たなエネルギーを予感させるキックオフとなりました。



目標

2020年までに
女性管理職20%以上!

取り組み

- ①プロジェクトチームの立ち上げ
- ②女性管理職育成研修の実施
- ③育児と仕事両立支援制度の見直し

▶土砂災害からの経験を活かして 事業継続計画への取り組み

2014年8月20日、広島市では強く激しい雷雨が襲い大規模な土砂災害が発生しました。イズミではいち早く担当者を現場に送り込むなどして、被災者へ飲料や食品を供給する体制を整え、被災地域での生活インフラとしての役割を担いました。

今後も被災地復旧の支援とともに、災害に対する対応と経験を事業継続計画へと活かしたいと考えてます。

「広島土砂災害」義援金寄託のご報告

「広島土砂災害」で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。イズミでは、8月21日より「ゆめタウン」「ゆめマート」全124店舗で、義援金の募集活動を行いました。そのうち9月5日までにお客さまやイズミグループ従業員から寄せられた義援金と、イズミからの義援金を、9月10日に広島市へお届けしました。

◎店頭募金…846万752円 ◎(株)イズミからの義援金…5千万円

※平成26年9月5日時点

ともに「夢」を育てるイズミグループ

さらなる効率アップ、収益力アップをめざして

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。

各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客様に新たな驚きと感動をお届けしてまいります。

you me
マート

イズミグループのメリットを活かし、新たな商品の提供にチャレンジします。

株式会社 ゆめマート

株式会社ゆめマートは、熊本県内に”ゆめマート”19店舗を展開しております。地域一番の品揃えをめざし、日々、見直しを行っております。例えば、これまで都市圏店舗のみで取り扱ってありました”銘店”を郊外の店舗でも取り扱いを開始し、また、衣料品については、ゆめタウンで展開しているショップを導入するなど、お客様の多様なニーズに対応すべく、日々チャレンジしております。



you me
ゆめカード

キャッシュレス決済比率50%を実現し、イズミグループの発展にフル貢献します。

株式会社 ゆめカード

電子マネー「ゆめか」は2014年9月末現在で発行枚数が420万を突破いたしました。イズミ直営売上における、ゆめか及びクレジットを合わせたキャッシュレス決済比率は45%を超える高い数値まで伸びており、目標の期末時点50%の達成が見えてまいりました。

また、電子マネーのASP事業や保険事業の業績も好調に推移しており、グループ外収益の拡大に繋がっております。

今後も、当社は金融機能を通してイズミグループの発展にフル貢献いたします。

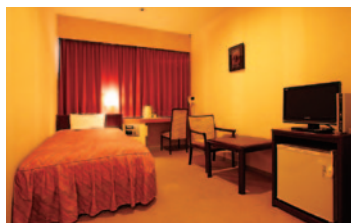


イズミテクノは外部への業務拡大を目指し新しい仕事にチャレンジしています。

株式会社 イズミテクノ

イズミテクノは、ゆめタウンやイズミなどの管理・運営、警備、クリーンサービスの業務を通して安全で快適な環境を提供する企業です。その技術ノウハウときめ細やかなサービス精神を活かして、平成25年度から指定管理者として管理している広島県民文化センターでは宿泊施設の鯉城会館の運営も行なっています。

鯉城会館は、市内中心地にあり、平和公園、原爆ドームへも徒歩圏内の好立地。皆様のご来館をお待ちいたしております。



鯉城会館 客室



広島県民文化センター

イメージを刷新した「OKONOMI ICHIBANCHI」改装オープン!

イズミ・フード・サービス 株式会社

ゆめタウン呉の「お好み一番地」が、2014年9月19日、装い新たに「OKONOMI ICHIBANCHI」として改装オープンいたしました。

お好み焼きのお店とは思えない明るくてオシャレな店装にリニューアル。店名ロゴはローマ字のデザインに変更、ユニフォームも一新いたしました。同時に、お好み焼きとたこ焼きの併売店舗としてスタート。新商品としてメニューに追加した、お好み焼きとたこ焼きのセット商品「広島焼きセット」と、焼きそばとたこ焼きのセット商品「焼きそばセット」は、多くのお客様からご好評をいただいております。



業績ハイライト

営業収益	2,834 億円	経常利益	136.9 億円	四半期純利益	85.1 億円
	前年同期比 104.0%		前年同期比 96.1%		前年同期比 92.8%

連結決算の推移

	通 期			第 2 四 半 期	
	平成25年2月	平成26年2月	平成27年2月計画	平成25年8月	平成26年8月
営 業 収 益	535,510	556,852	580,000	272,528	283,405
前年同期比	103.8%	104.0%	104.2%	104.7%	104.0%
営 業 利 益	27,949	29,100	31,100	14,635	13,770
前年同期比	115.2%	104.1%	106.9%	112.3%	94.1%
経 常 利 益	27,102	28,446	30,100	14,243	13,690
前年同期比	115.1%	105.0%	105.8%	113.4%	96.1%
当 期(四 半 期)純 利 益	16,187	17,384	17,500	9,171	8,515
前年同期比	146.3%	107.4%	100.7%	117.4%	92.8%
総 資 産	379,824	397,071	—	400,287	419,039
純 資 産	126,139	130,178	—	130,704	137,452
1株当たり(四半期)利益	207.01円	236.55円	243.54円	123.44円	118.51円
1株当たり純資産	1,541.32円	1,672.92円	—	1,620.55円	1,773.17円

[参考] 単体決算の推移

	通 期			第 2 四 半 期	
	平成25年2月	平成26年2月	平成27年2月計画	平成25年8月	平成26年8月
営 業 収 益	514,105	535,492	561,900	261,418	273,628
前年同期比	104.0%	104.2%	104.9%	104.6%	104.7%
営 業 利 益	23,431	24,785	26,900	12,437	11,278
前年同期比	117.5%	105.8%	108.5%	117.0%	90.7%
経 常 利 益	22,448	23,941	25,500	11,941	10,790
前年同期比	117.6%	106.7%	106.5%	118.3%	90.4%
当 期(四半期)純 利 益	12,508	15,549	15,600	8,191	6,441
前年同期比	139.5%	124.3%	100.3%	141.2%	78.6%
総 資 産	324,183	337,700	—	341,147	354,748
純 資 産	95,766	98,684	—	99,004	103,781
1株当たり配当金	38.00円	43.00円	46.00円	20.00円	23.00円

連結財務諸表

[連結] 貸借対照表

単位:百万円					
	前期末 H26.2.28	当第2四半期末 H26.8.31		前期末 H26.2.28	当第2四半期末 H26.8.31
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	6,800	13,586	支払手形及び買掛金	23,191	43,332
受取手形及び売掛金	25,482	29,031	短期借入金	46,726	33,168
商品及び製品	24,125	22,051	1年内返済予定の長期借入金	23,249	23,999
仕掛品	84	67	未払法人税等	5,287	4,884
原材料及び貯蔵品	319	332	賞与引当金	1,451	1,987
その他	14,718	16,862	役員賞与引当金	47	12
貸倒引当金	△ 635	△ 621	ポイント引当金	1,817	2,077
流動資産合計	70,895	81,311	商品券回収損失引当金	53	55
固定資産			資産除去債務	335	—
有形固定資産			その他	21,653	31,948
建物及び構築物	133,474	134,721	流動負債合計	123,813	141,464
土地	141,011	144,083	固定負債		
その他	9,547	14,968	長期借入金	103,471	100,080
有形固定資産合計	284,033	293,773	退職給付引当金	6,540	6,717
無形固定資産	7,418	7,960	役員退職慰労引当金	1,241	1,264
投資その他の資産			利息返還損失引当金	329	268
その他	35,142	36,392	資産除去債務	6,501	6,675
貸倒引当金	△ 419	△ 398	その他	24,994	25,116
投資その他の資産合計	34,723	35,994	固定負債合計	143,079	140,122
固定資産合計	326,175	337,728	負債合計	266,892	281,587
			(純資産の部)		
			株主資本		
			資本金	19,613	19,613
			資本剰余金	22,282	22,282
			利益剰余金	94,517	101,380
			自己株式	△16,760	△16,761
			株主資本合計	119,652	126,515
			その他の包括利益累計額		
			その他有価証券評価差額金	822	1,162
			為替換算調整勘定	△ 264	△ 263
			その他の包括利益累計額合計	558	899
			少数株主持分	9,966	10,038
			純資産合計	130,178	137,452
資産合計	397,071	419,039	負債純資産合計	397,071	419,039

資産・負債の状況	
総資産	4,190億円
	前期末比 ▶219億円増加
● 当第2四半期の設備投資額は13,013百万円であり、これは主に店舗新設等によるものです。その結果、有形固定資産は、減価償却実施後で9,739百万円増加しました。	
● 現金及び預金は、期末日が銀行休業日であったために仕入債務等の資金決済が翌月初に持ち越されたこと等で6,786百万円増加しました。	
● 受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加等により、3,548百万円増加しました。	
負債	
負債	2,815億円
	前期末比 ▶146億円増加
● 支払手形及び買掛金は、販売増に伴う仕入れの増加に加え、期末日が銀行休業日であったこと等で20,141百万円増加しました。	
● 短期借入金及び長期借入金は、16,199百万円減少しました。	

純資産の状況	
純資産	1,374億円
	前期末比 ▶72億円増加
● 利益剰余金は、配当支出により減少したものの、内部留保額の上積みにより6,863百万円増加しました。	
● これらの結果、自己資本比率は30.4%となり、前期末の30.3%に比べて0.1ポイント上昇しました。	

連結財務諸表

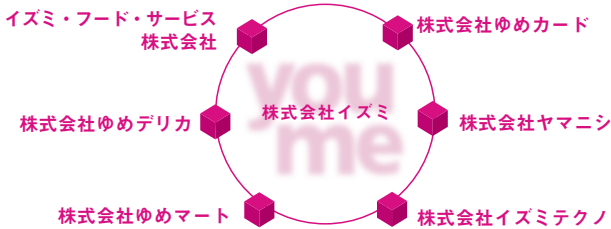
[連結] 損益計算書

	単位: 百万円	
	前第2四半期 H25.3.1～H25.8.31	当第2四半期 H26.3.1～H26.8.31
営業収益	272,528	283,405
売上高	259,691	270,138
売上原価	204,165	212,392
売上総利益	55,526	57,745
営業収入	12,836	13,266
営業総利益	68,363	71,012
販売費及び一般管理費	53,727	57,242
営業利益	14,635	13,770
営業外収益		
受取利息	72	73
仕入割引	187	153
持分法による投資利益	10	368
その他	371	333
営業外収益合計	640	928
営業外費用		
支払利息	849	830
その他	183	178
営業外費用合計	1,033	1,009
経常利益	14,243	13,690
特別利益		
固定資産売却益	693	2
負ののれん発生益	－	19
その他	61	－
特別利益合計	754	22
特別損失		
固定資産売却損	31	41
固定資産除却損	292	180
その他	15	11
特別損失合計	340	232
税金等調整前四半期純利益	14,657	13,479
法人税、住民税及び事業税	5,331	4,728
法人税等調整額	△ 43	138
法人税等合計	5,287	4,866
少数株主損益調整前四半期純利益	9,369	8,612
少数株主利益	197	96
四半期純利益	9,171	8,515

イズミグループの状況

グループシナジーを追求し、
企業価値の増大を目指します。

イズミグループは、当社、連結子会社14社及び持分法適用会社6社（平成26年8月31日現在）で構成され、小売業を中核に、小売周辺事業及びその他の事業を展開しております。各グループ企業がその事業領域を明確にし、シナジー効果を追求することで、さらなる企業価値の増大を図ってまいります。



損益の状況

営業収益	2,834億円	前年同期比 ▶104.0%
売上高は前年同期比4.0%増の270,138百万円となりました。これは、堅調な既存店販売と店舗新設による販売増が寄与したことによるものです。売上総利益は、売上高対比では21.4%となり、前年並みで推移しました。販売費及び一般管理費は、新設店舗に係る新規採用や人事諸施策の実施に伴う人件費の増加に加え、新設店舗の創業経費負担などが増加したことなどにより57,242百万円となりました。これらの結果、営業利益は前年同期比5.9%減の13,770百万円となりました。売上高対比は5.1%と前年同期に比べて0.5ポイント低下しました。		

経常利益	136.9億円	前年同期比 ▶96.1%
------	---------	--------------

営業外収益は、持分法による投資利益368百万円等を計上し、前年同期比287百万円増加の928百万円となりました。一方、営業外費用は前年同期比24百万円減少の1,009百万円となりました。これらの結果、経常利益は前年同期比552百万円(3.9%)減少の13,690百万円となりました。売上高対比は5.1%と前年同期に比べて0.4ポイント低下しました。

四半期純利益	85.1億円	前年同期比 ▶92.8%
--------	--------	--------------

四半期純利益は前年同期比655百万円(7.2%)減少の8,515百万円となりました。売上高対比は3.2%と前年同期に比べて0.3ポイント低下しました。

[連結] キャッシュ・フロー計算書

	単位: 百万円	
	前第2四半期 H25.3.1～H25.8.31	当第2四半期 H26.3.1～H26.8.31
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,657	13,479
減価償却費	6,096	6,324
のれん償却額	57	57
負ののれん発生益	－	△ 19
貸倒引当金の増減額	△ 28	△ 34
受取利息及び受取配当金	△ 117	△ 117
支払利息	849	830
持分法による投資損益	△ 10	△ 368
固定資産売却損益	△ 661	38
固定資産除却損	292	180
売上債権の増減額	△ 2,797	△ 3,548
たな卸資産の増減額	△ 768	2,229
仕入債務の増減額	17,963	19,919
その他	4,753	5,199
小計	40,286	44,171
利息及び配当金の受取額	119	122
利息の支払額	△ 772	△ 760
法人税等の支払額又は還付額	△ 6,376	△ 5,173
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,256	38,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 10,703	△ 9,275
有形固定資産の売却による収入	1,513	40
無形固定資産の取得による支出	△ 535	△ 528
投資有価証券の取得による支出	△ 265	△ 418
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△ 623
短期貸付金の増減額	9	△ 204
その他	329	△ 497
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,651	△ 11,506
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△ 11,340	△ 14,658
長期借入れによる収入	10,000	8,800
長期借入金の返済による支出	△ 9,286	△ 12,507
自己株式の取得による支出	△ 2,769	△ 0
配当金の支払額	△ 1,497	△ 1,652
少数株主への配当金の支払額	△ 20	△ 28
その他	△ 16	△ 18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,929	△ 20,066
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	0
現金及び現金同等物の増減額	8,674	6,786
現金及び現金同等物の期首残高	6,862	6,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,536	13,586

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー	383億円の収入
------------------	----------

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

- ・主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益13,479百万円、減価償却費6,324百万円、仕入債務の増加額19,919百万円です。
- ・主な支出項目は、法人税等の支払額5,173百万円、売上債権の増加額3,548百万円です。
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期と比較すると5,102百万円増加しました。これは主にたな卸資産が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー	115億円の支出
------------------	----------

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

- ・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出9,275百万円です。これは主に、今後の新設店舗に係る先行投資等です。

財務活動によるキャッシュ・フロー	200億円の支出
------------------	----------

営業活動および投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

- ・主な収入項目は、長期借入れによる収入8,800百万円です。
- ・主な支出項目は、短期借入金の純減少額14,658百万円、長期借入金の返済12,507百万円及び配当金の支払額1,652百万円です。

現金及び現金同等物の残高	135億円
--------------	-------

会社概要

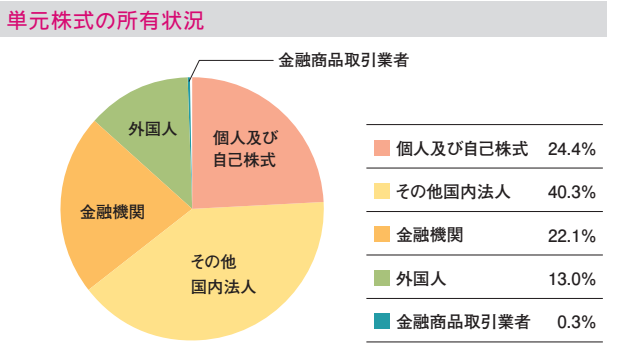
(平成26年8月31日現在)

設立年月日	昭和36年10月27日		
本社所在地	広島市東区二葉の里三丁目3番1号 TEL 082-264-3211(代)		
資本金	19,613,856,196円		
従業員	正社員	2,393名	
	パートタイマー	4,789名(1日8時間換算)	
店舗数	104店		
	中国地方 61店 広島県 33店 岡山県 10店 山口県 12店 島根県 6店 九州地方 29店 福岡県 14店 佐賀県 2店 大分県 2店 長崎県 2店 熊本県 9店 その他 14店 香川県 3店 兵庫県 5店 徳島県 1店 その他 5店		

株式の状況

(平成26年8月31日現在)

発行可能株式総数	195,243,000株
発行済株式の総数	78,861,920株
株主数	4,046名
1単元の株式数	100株



役員一覧

(平成26年8月31日現在)

取締役会長	山西 義 政
代表取締役社長	山西 泰 明
専務取締役	梶 原 雄一朗
専務取締役	三家本 達 也
専務取締役	吉 田 恒 彦
取締役	中 村 豊 三
常勤監査役	川 本 邦 昭
監査役	松 原 治 郎
監査役	通 堂 泰 幸

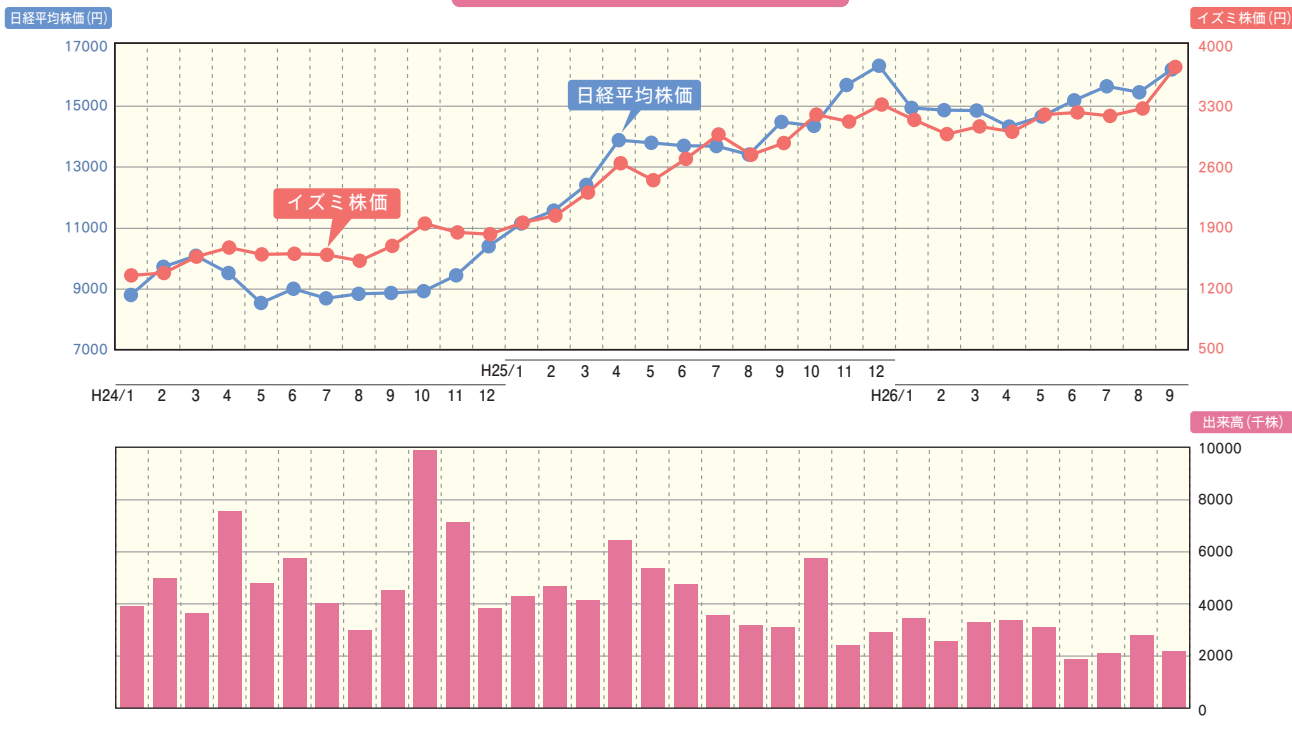
大株主の状況

(平成26年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
(有)泉屋	11,501千株	16.0%
山西ワールド(株)	8,433千株	11.7%
(株)泉興産	4,104千株	5.7%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,456千株	3.4%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,300千株	3.2%
イズミ広島共栄会	2,172千株	3.0%
山西 泰明	2,035千株	2.8%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.8%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	1,925千株	2.7%

(注) 持株比率は、自己株式(7,002千株)を控除して計算しています。

株価の推移



株主優待制度

株主ご優待券またはギフト券

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下の通りお贈りいたします。

ご所有株式数	一回当たり贈呈額	
	株主ご優待券の場合	ギフト券の場合
100株以上	5枚 (1,000円相当)	500円相当
1,000株以上	25枚 (5,000円相当)	一律 2,000円相当
2,000株以上	50枚 (10,000円相当)	
4,000株以上	100枚 (20,000円相当)	
6,000株以上	150枚 (30,000円相当)	
8,000株以上	200枚 (40,000円相当)	
10,000株以上	250枚 (50,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、2千円以上のお買上につき、2千円ごとに各1枚(200円割引券)をご使用いただけます。

泉美術館ご招待券の贈呈

平成26年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

- 開館時間

午前10時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

■休館日

月曜日(祝祭日は開館)、年末年始
※展示替えによる臨時休館あり

■住所

〒733-0833 広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階
TEL (082) 276-2600

■ホームページ

<http://www.izumi-museum.jp/>

本物の文化とやすらぎを…。

公益財団法人 泉美術館

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期 末 配 当 金 毎年2月末日 中 間 配 当 金 毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先] ^(※)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先] ^(※)	☎ 0120-782-031

(※) 平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

インターネットホームページアドレス
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。